

【優良賞】 木造高層ビル



代表取締役
木村 一義 氏

【環境貢献特別賞】
株式会社シェルター

〒990-2473 山形県山形市松栄一丁目5-13
TEL. 023 (647) 5000
<http://www.shelter.jp/>

シェルターが開発した木質耐火部材「クールウッド」は、2017年12月に国内初の3時間耐火木構造部材として国土交通大臣の認定を得た。これにより建築基準法上の防火地域で15階建て以上の高層ビルの建築が可能になる。すでにクールウッドで2時間耐火における主要構造部材は、すべての部材で同大臣認定を取得しており、2時間耐火技術は現在建設中の山口県長門市の新庁舎などにも採用されている。3時間耐火のクールウッドは18年3月から販売を始めた。

クールウッドの構造はいたってシンプルだ。核となる木造部材を石こうボードで囲み、その外側を木材で覆ったいわば“木の現し”により木のぬくもりを実現した。燃え止まり層の石こうボードは安価な市販品で、各地域の樹種に対応できる。製法は地域の工務店でも作れる点に注力した。

シェルターは基本特許を持つが、一般社団法人「日本木造耐火建築協会」（東京都港区）を通じて、その技術をオープン化している。クールウッドを用いた施工マニュアルも国の研究機関とともに作成し、地域産木材を用いた大規模木造公共施設建設事業などのサポートによる地域活性化策にも結びつけている。

大手ゼネコンの木造耐火技術は、自社受注案件のみの活用でクローズな面もあるという。オープン化技術のクールウッドは、全国の自治体案件などへの対応がしやすい。

木造による高層ビルの需要は、これから本番を迎える。都市部では、既存の鉄骨造ビルの建て替え案件で、既存杭を活用した鉄骨と木造のハイブリッドな構造での利用も広がろうとしている。

